

## 第1回薬学教育カリキュラム評価検討委員会会議議事録（確定）

日時：令和5年11月09日（木）15:30～17:50  
形式：Web会議（Zoom）  
場所：日本薬学会長井記念館 薬学教育協議会事務局（ホスト会場）  
出席者：別記1  
配布資料：別記2

### ○各委員の紹介及び委員長について

開催に先立ち委員及びオブザーバーの紹介がなされた。

また、文部科学省、厚生労働省の紹介もなされた。

本間代表理事より、本委員会は今年度から設立したこと。文部科学省高等教育局より受託している事業であるが、薬学教育モデル・コア・カリキュラムに関する仕事は、まだすべき業務が残っているため、この委員会でご議論いただき方向を決めて活動したいと考えているとの挨拶があった。

また、本委員会の委員長は本間代表理事が行うことが了承された。

### 1. 今後の活動のお願いについて（資料2-1～2-4）

本間委員長より、資料2-1～2-4に基づき説明があった。

薬学教育モデル・コア・カリキュラムは、本年2月下旬に公表されたが、実習や演習の内容、所謂、方略の内容は記載されていない。教科担当教員会議で実習や演習について議論をして、各大学のカリキュラム作成の参考にしてもらいたいと考えている。

対応として、7月の段階だが、教員会議の世話人の先生方に資料2-1のお願い文を提出した。

1番目は標準的な実習、良い事例あるいは、Good Practice について教員会議メンバーにアンケートの回答をお願いしたこと。それを情報共有し全体の質向上を図ることをお願いしたこと。3番目は、教員会議での課題や問題点について、その議論の記録を次回のモデルコアカリの改訂作業の資料としたいとお願いしたとの報告であった。

資料の2-2は、改めて8月7日付で世話人の先生方へ9月29日（金）を締め切りとし、上記のアンケート調査をお願いした文書である。薬科学と実務実習の会議は対象から外した16の会議に依頼し、15の会議から回答があったとの報告があった。

本委員会の先生方、特に大項目班の班長の先生への依頼の一つ目として、資料2-3であるが、各大項目のアンケート回答に対する意見を、班内で纏めていただき、協議会に提出いただきたい。その後、教員会議でも議論を深める予定であるとのことであった。

二つ目、資料2-3の下段の1)-2)であるが、8月に文科省主催のワークショップで改訂版薬学教育モデル・コア・カリキュラムのアンケート調査が行われたが、これらの回答についても大項目の班ごとに検討いただき、意見を付して協議会に戻していただきたい旨の依頼があった。

## 2. 文部科学省委託調査研究の進捗状況について（資料 3-1～3-3）

1)本間委員長より資料 3-1 に基づき、文部科学省委託調査研究の進捗状況について説明があった。まず、実務実習に関するガイドラインの改訂 WG は、鈴木先生が委員長で第 11 回まで会議を実施した。12 月に病院・薬局実務実習推進委員会という会議を開催予定である。これは、これまでの連絡会議を引継ぐ委員会であるが、ガイドラインについて議論し、その後、新六者懇に提示し確認いただく予定である。

次いで、鈴木委員より資料 3-2 に基づき、ガイドラインの概略の説明がなされた。

2)続いて、本間委員長より資料 3-3 に基づき、実務実習における標準的な実習内容（例示）及び概略評価（評価ルールブック）について、概略の説明がなされた。

3)今年度を実施する調査研究委託事業の現状報告について

本間委員長より、令和 5 年度に行う事業の概略紹介がなされた。

- 薬剤師として求められる基本的な資質・能力の内、「患者・生活者を総合的にみる姿勢」と、「情報・科学技術を活かす能力」の二つの資質能力の教育コンテンツの作成作業を行っている。
- 引き続き、本間委員長よりその他の調査研究委託事業の紹介がなされた。
- 「改訂版モデル・コア・カリキュラムの英語訳の作成」
  - 「6 年制に基礎を置く大学院の充実」
  - 「4 年制薬科学教育の今後について」

別記1

## 第1回薬学教育カリキュラム評価検討委員会（11月9日開催）

構成委員	氏名(敬称略)	所属	出欠
B 社会と薬学	班長 亀井美和子	帝京平成大学薬学部 学部長	Web
	有田悦子	北里大学薬学部薬学教育研究センター教授	Web
C 基礎薬学	班長 後藤直正	京都薬科大学 前学長	Web
	高須清誠	京都大学大学院薬学研究科薬品合成化学 教授	Web
D 医療薬学	班長 小佐野博史	帝京大学 名誉教授	欠席
	灘井雅行	名城大学薬学部薬剤学研究室 教授	Web
E 衛生薬学	班長 平田收正	和歌山県立医科大学薬学部 教授	Web
	原俊太郎	昭和大学薬学部社会健康薬学講座 教授	Web
F 臨床薬学	班長 鈴木匡	名古屋市立大学大学院臨床薬学分野 教授	Web
	真野泰成	東京理科大学薬学部 教授	欠席
	大津史子	名城大学薬学部医薬品情報学 教授	欠席
e-learning コンテンツ作成	委員長 木下淳	兵庫医科大学薬学部臨床薬学分野 准教授	Web
	本間浩	一般社団法人薬学教育協議会 代表理事	Web
オブザーバー	井上圭三	帝京大学 副学長	Web
文部科学省高等教育局医学教育課			Web
厚生労働省医薬局総務課			Web

別記 2

薬学教育カリキュラム評価検討委員会 第1回会議 (2023.11.09)

<配付資料>

資料 1 薬学教育カリキュラム評価検討委員会 委員リスト

資料 2-1 令和5年度 教科担当教員会議 世話人の先生へのお願い

資料 2-2 第 23037 号\_モデル・コア・カリキュラムの実習・演習について (お願い)

資料 2-3 薬学教育カリキュラム評価検討委員会 大項目班へのお願い

資料 2-4 教員会議からの回答と薬学教育指導者のための WS のアンケート

資料 3-1 文部科学省委託事業の進捗状況について

資料 3-2 実務実習ガイドライン (令和4年度改訂コアカリ対応版) 案 抜粋

資料 3-3 実務実習ガイドライン 別添資料 案 抜粋